

令和7年度 開かれた学校づくり協議会 第3回 議事録

日時：令和7年8月25日(月) 14:30~16:30 於 多目的室

出席者：協議会委員…校長、小宮、塩田、村田、松村、大平、後藤、小川、関、澤田、北川、福里
第二中学校より…副校長、地域コーディネーター(大鷲、澤木)
教職員…副校長、高嶋、曾山 事務局…濱村、中山

欠席者：田畑、中村、岡田

敬称略

1. 校長挨拶

2. 令和7年度全国学力学習状況調査について

3. 熟議

2グループに分かれ、模造紙を使い理想の子供・大人像を描き、育成の方向性を共有した

テーマ ①「桜野地区の子供たちは」 ②「どのような子供を育てていきたいか」



テーマ①「桜野地区の子供たちは」

👤 子供の遊び・スマホ依存

- 外遊びが減少し、ゲームを通じたつながりが主流に
- スマホ依存は近年の課題で、昼夜逆転や不登校との関連も

🌸 桜野地区の子供たちの特徴

- 明るく表情豊かで、友達と協力して行動する傾向が強い
- 他者への理解があり、差別心が少ない。素直で聞き分けがよく、人懐っこい
- 行事への協力意欲が高く、下級生の面倒を見る文化も根付いている
- 地域の大学生や上級生がロールモデルとなり、社会性が育まれている

🌱 体験活動と地域交流の意義

- 武蔵野市などでは宿泊学習やキャンプなどの体験活動が継続され、子どもの成長に好影響
- 地域活動を通じてリアルな人間関係が育まれ、会話が活発になる傾向

🎓 教育現場と若者の課題

- 社会に出るには「挨拶」「時間厳守」など基本的マナーが重要

🏠 地域との関係性の希薄化

- 一部高校では地域活動が活発だが、全体的には参加が少ない
- 部活動やアルバイトが中心となり、地域との接点が減少

全体として、桜地区の子供たちは協調性が高く、地域や学校の中で健やかに育っている様子がうかがえる



テーマ② 「どのような子供を育てていきたいか」

育てたい子供・大人像

- 自律的に考え、行動できる力をもつ
- 自分の幸せを大切にし、他者にも優しくできる
- 地域に貢献し、持続可能な活動を担える人材
- 地域の文化やイベントに積極的に関わる姿勢
- 自己肯定感を育み、自分の価値を実感できる
- 個性を尊重し、それぞれの得意分野で輝ける

地域活動と体験の重要性

- 地域イベント(お祭り・ジャンボリーなど)が成長の機会に
- 花火などの体験が初めての子も多く、体験機会の確保が課題
- 自転車教室など、基本的な生活スキルの習得も重要
- 特技披露(けん玉・歌など)で自信と承認を得る機会が増える

学校と地域の関係性・教育の課題

- 小中一貫の友人関係の継続が価値あるものと再認識
- 高校進学で地域とのつながりが希薄になる懸念

地域と学校の連携

- 地域に根ざした教育活動(例:しゃけプロジェクト)で学校外にも居場所を
- 小中合同活動や継続的な交流が社会性と地域意識を育む
- 年上の子供たちがロールモデルとなり、次世代の育成につながる

今後の展望と育成への期待

- 地域活動を通じて若者の成長を支える仕組みづくりが求められている

4. おわりに

本日の話し合いを通じて、地域の大人たちが子供たちに積極的に関わり、見守り、褒めることの大切さを改めて確認することができました。また、「学校を核として地域全体で子どもを育てる」という共通のコンセプトが、私たちの活動の土台となっていることを再認識しました。今後も、学校・家庭・地域が連携しながら、子供たちの未来を支える取組を継続していきたいと思えます。

次回は 令和7年10月1日(水) 14:15～ 開催予定

開かれた学校づくり協議会 第3回 R7.8.25 (月)



2グループに
わかれてました



いろいろな意見が
でました

